

## ■庁舎整備基本計画見直しの方向性

- ・ 庁舎整備基本計画の見直しの方向性として、社会情勢の変化を捉え、以下を踏まえて検討します。

### ○これまでの一極集中型の整備からの転換

- ・ これまでは、点在する施設の機能を集約する方針で行政の効率化を図ってきましたが、今後は、小規模多機能自治による「新しい公共」の形を確立していくため、庁舎には必要な機能だけを集約することが求められます。

### ○持続可能な地域づくりの後押し

- ・ 今後、持続可能な地域づくり、柔軟性の高い庁舎整備を進めていく中で、DX化を踏まえた仕組みづくりと併せて、小規模多機能自治を後押しする整備を検討します。

### ○財政負担の軽減

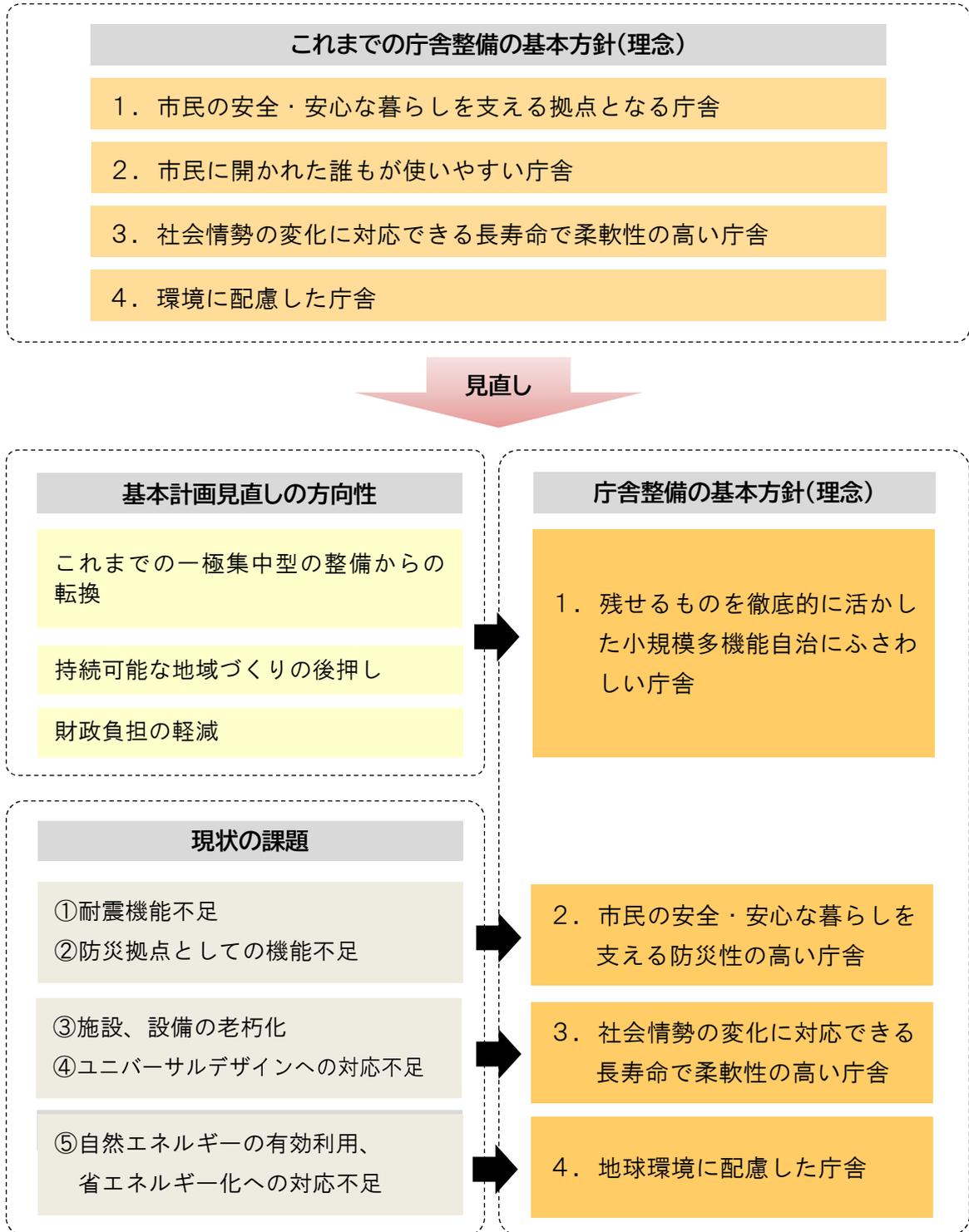
- ・ 全面建替えだけでなく、耐震改修及び増築も視野に入れ、今後も使用可能な施設は活用して庁舎整備を行うことを前提とすることで財政負担を軽減します。
- ・ また、ライフサイクルコストを抑える設備の導入を検討します。



残せるものを徹底的に活かした  
小規模多機能自治にふさわしい庁舎

## ■基本方針(素案)

- ・現庁舎等の現状の課題や、基本計画見直しの方向性等を踏まえ、基本方針を以下のように設定します。



## ■仮)基本方針(理念)

### 1. 残せるものを徹底的に活かした小規模多機能自治にふさわしい庁舎

・最大限、東庁舎は改修等を行いながら活用することを前提とし、各施設の機能及び新たに必要とされる機能等を適正に再配置することで、小規模多機能自治にふさわしい庁舎を目指します。

### 2. 市民の安全・安心な暮らしを支える防災性の高い庁舎

・高度な耐震機能を備え、大規模災害の発生時には救助や復旧・復興に向けた指揮活動、情報収集など、災害復旧・復興活動の機能を担う防災性の高い庁舎を目指します。

### 3. 社会情勢の変化に対応できる長寿命で柔軟性の高い庁舎

・今後の社会経済情勢の変化を踏まえた将来の行政組織等の変化に対応できる柔軟性の高い庁舎を目指します。

・DX化に対応した設備や、多様化する市民ニーズに応える最適な庁舎を目指します。

・年齢や障がいの有無にかかわらず、誰にとっても使いやすく、わかりやすいユニバーサルデザインの考え方に基づいた庁舎を目指します。

・職員の機能的・効率的な執務環境を備えた庁舎を目指します。

### 4. 地球環境に配慮した庁舎

・自然エネルギーの有効利用や省エネルギー化、省資源化を図り、地球環境に配慮した庁舎を目指します。